

製品名: MCT12 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13739**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	53kDa

抗原情報

遺伝子名	SLC16A12
別名	SLC16A12; MCT12; Monocarboxylate transporter 12; MCT 12; Solute carrier family 16 member 12
遺伝子 ID	387700.0
SwissProt ID	Q6ZSM3
免疫原	抗血清はヒト MOT12 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 115-164

背景

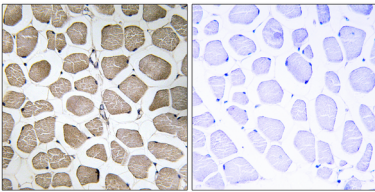
この遺伝子は、モノカルボン酸輸送に関与すると考えられる膜貫通型トランスポーターをコードしています。この遺伝子の変異は、

小角膜および腎性糖尿を伴う若年性白内障と関連付けられています。[RefSeq 提供、2010年3月]、疾患：SLC16A12 遺伝子の欠損は、小角膜および糖尿を伴う若年性白内障（CJMG）の原因です[MIM:612018]。腎性糖尿は、高血糖および形態学的腎異常の証拠を伴わない、尿中グルコース濃度の上昇によって定義されます。機能：プロトン結合型モノカルボン酸トランスポーター。多くのモノカルボン酸の細胞膜を介した迅速な輸送を触媒します。類似性：主要促進因子スーパーファミリーに属します。モノカルボキシレートポーター（TC 2.A.1.13）ファミリー。組織特異性：腎臓で最も強く発現し、次いで網膜、肺、精巣の順となる。脳と肝臓では極めて弱い発現を示す。水晶体でも検出される。

研究分野

-

画像データ



MOT12 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト骨格筋組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。